

# 同窓会 会報

第27号 2021. 9. 1

〒709-0422 岡山県和気郡和気町尺所15  
TEL 0869-93-1188 FAX 0869-93-1010

岡山県立和気閑谷高等学校同窓会事務局

## 『次なる展開へ』

同窓会長 内山 登

多くの方々の大変な御協力の下、コロナにも負けず、「創学350年」の各種行事は、ほぼ終了しました。ありがとうございました。

残るは記念館の改修（3Fの寮へのリフォーム等）ですが、既に7月、発注済みです。これも一重に御寄付をいただいた皆様のおかげです。改めて御礼申し上げます。

さて、これから2年先が本番です。本校にとっての最大のハードルが待っています。

これを乗り越えていかねばなりません。岡山県教委は大きく定員割れが続く学校は、再編統合の対象にすると定めています。この判断が

2年先になされるということとです。

何としても、この伝統に輝く和気閑谷高校を継続・発展のレールに乗せていかねばなりません。

今年、同窓会としては、その組織の充実と学校の全国公募に協力するため、関東と関西に支部を設ける予定にしております。

同窓生の皆様には、恐縮ですが、引き続き御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 令和3年度同窓会総会のご案内

毎年恒例の同窓会総会を右記の要領で開催します。会員はどなたでも参加できます。卒業年を超えて参加して思い出や現在・未来と一緒に語りましょう。参加を希望される方は同封のハガキでお申し込みください。申し込みが会場の収容人数を超えた場合は申し訳ありませんが、先着順とさせていただきます。また、コロナウイルス感染症の状況次第では中止もあり得ます。開催の有無につきましては参加申し込みをされた皆様への個別のご案内はいたしませんので10月初旬、本校HP上でご確認ください。

\*今回は昭和54年3月卒業生（昭和35年4月～昭和36年3月生まれ）のうち25名が幹事を務めます。

日時：令和3年10月31日（日）  
11：00～12：00 総会（10：30～受付）  
総会終了後写真撮影～懇親会  
2時間半程度

会場：ピュアリティ まきび  
（岡山市北区下石井2-6-41）  
TEL 086-232-0511

会費：5,000円（当日集金します）

（問合せ先）岡山県立和気閑谷高等学校  
同窓会事務局 担当：赤嶋真一  
TEL(0869)93-1188

# 校長あいさつ

校長 藤岡 隆幸

同窓会員の皆様におかれましては、御清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に多大な御支援・御協力を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年は本校創学350年の節目の年に、新型コロナウイルス感染症の流行が重なり、記念行事の実施が心配されましたが、お蔭をもちまして無事に終えることができました。また、記念事業として、ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業による記念会館改修に、多くの皆様から多額の御寄附を賜りまして感謝申し上げます。御厚志をもとに今年度内に、記念会館三階を県外生受入れのための学生寮へ改修いたします。このことにより生徒募集に一層弾みがつくものと存じます。なお、4年前から取り組んでいる全国募集では、今春は3人が入学し、2年生8人、3年生3人が本県生徒とともに学んでいます。

新型コロナウイルス感染症への対応は2年目に入りました。日々の感染症対策を行い、制約や感染の波に翻弄されながらも、授業や行事、部活動、校外での大会や交流活動などで工夫を行い、生徒の成長に向けた機会の確保に努めているところであります。

また本校は、一昨年度に文科省の「地域との協働による高校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の指定（令和元年度～3年度）を受けるとともに、本県の県立学校で初めてコミュニティ・スクールとなりました。現在、「『恕』の精神を持って地域と協働する探究人の育成」をテーマに、和気町・

備前市・赤磐市の各自治体、商工会や大学等の関係者との協働体制を構築し、他校にない特色、他校よりも充実した学びに向け、カリキュラム作りに取り組んでいます。また、県下でいち早く、生徒一人一人がタブレット端末を活用する環境を実現したことから、本年度は、本県の1人1台端末推進事業の指定校となり、他校の導入の手本として、教職員の指導力の向上や生徒の様々な学び方の推進による学力の向上に取り組んでいるところです。

その一方で、本校を取り巻く環境としては、近年、地元の中学校卒業生数が減少し、私学の授業料実質無償化により、ますます岡山方面への進学傾向が高まり、生徒確保に困難が生じています。県教育委員会が定める県立高等学校教育体制整備実施計画において再編整備基準が示されており、令和5年度以降、生徒の入学状況によっては、存続にかかわる厳しい状況となります。

地域や同窓会の皆様との連携・協働により、この国難を乗り越え、次の50年、100年に向け、魅力的で持続可能な和気閑谷高校を作り上げていかなければなりません。同窓会の皆様には、今後とも一層のお力添えをお願い申し上げますとともに、同窓会のさらなる御発展と皆様の御健勝をお祈りして、御挨拶といたします。



せき さい  
秋 菜  
10月23日(土)  
10:00~

閑谷学校大成殿において、孔子の徳を称える儀式「釈菜」が行われます。大成殿の儀に続き、講堂の儀もあります。参加費2,500円（昼食代含む）で一般公募（先着順・上限40名）をしています。お申込みは財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会事務局または史跡受付へ。

〒705-0036 岡山県備前市閑谷784

事務局 (0869) 67-9900 史跡受付 (0869) 67-1436

## 学校の近況報告

# 深化する和気閑谷高校の学び ～ICTの活用と探究活動の充実～

教頭 久常 宏栄

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が岡山県でも発令され、教育活動も様々な制限の中で行って来ました。自粛ムードの中ですが、工夫しながら教育活動を実践しています。他の高校に先駆けて取り組んだiPadやchomebook等のICTを活用した授業を3学年すべてで行い、効果的な学習を進めています。

また、部活動も奮闘しています。剣道部の20年ぶりの中国大会出場をはじめ、野球部の2年連続ベスト16、卓球部のシングルスベスト16、バレーボール部は強豪校ひしめく中での備前地区ベスト4等、部活動の活躍はコロナ禍の不安を吹き飛ばしてくれています。

それでは、昨年後半からの生徒の活躍の様子を紹介します。

○文部科学省の指定事業「地域との協働による高校教育改革推進事業（地域魅力化型）」の3年目を迎えました。生徒たちの



地域での探究的な学びは着実な成果を上げています。昨年12月18日には3年生が卒業探究発表会を行いました。全員が自分の探究の成果をiPadで発表し共有しました。

今年度、1年生は閑谷研修で2市1町の3コースに分かれて地域の魅力を調査し、それをクラスで発表しあい共有しました。個々に地域の魅力をウィキペディアにまとめ、7月16日に全体に発表しました。

7月20日には2・3年の探究発表会を行い、お互いの探究を参考に自分の考えを深めました。コロナ禍において工夫しながらの発表で、10教室に分かれて全員が発表を行いました。2年次生はSDGs（持続可能な開発目標）の解決に向けて、自分たちにできることを考え、探究・実践した経過と成果を発表しました。3年次は個人探究を発表し、2・3年の代表発表は全員に向けてオンラインで行いました。

## ○地域との連携

キャリア探求科の商品開発の授業で「クセの強い鯉」をコンセプトに地元企業の「徳永こいのぼり」と共同でキーホルダーを考案しました。5種類あるユニークな商品はガチャガチャ（カプセルトイ）として販売されています。



また、学習支援のボランティアを継続的に行っており、中学生の学びに貢献するだけでなく、高校生自身の成長の場となっています。

授業の閑谷學に留まらず、地域との連携は広がっています。

コロナ禍で閉塞感の漂う地域を元気づけようと生徒有志と地域の協議会が協力して、和気駅前に疫病をはらうとされる「アマビエ」のイルミネーションを作成し、多くの方を元気づけました。

○閑谷學、読者欄への投稿、野球部の活動等、閑谷學、生徒の活動がマスコミ紹介されました。

「閑谷學」の探究発表会の様子や部活動の活躍、そして多くの生徒の活躍が紹介されています。本校はNIE（ニュースペーパー・イン・エデュケーション）実践校として指定は昨年で終わりましたが、今年度も非常勤講師の北川久美子先生などに御指導いただき、生徒は新聞各社の読者欄に熱心に投稿しています。多くの生徒の投稿が山陽新聞・朝日新聞に掲載されています。

また、野球部と障害者野球チーム「岡山桃太郎」との交流から生まれた部員が発案した障害者用野球グラブは継続的に活動を続けており、山陽新聞や瀬戸内海放送（KSB）をはじめとする各社の報道に取り上げられています。



本校ホームページからご覧いただけるブログ「今日の！昨日の？和気閑谷高等学校」(<http://www.wakesizu.okayama-c.ed.jp/wordpress/>)で紹介しています。学校の様子も随時アップしていますので、ぜひご覧ください。

## ○令和2年度卒業証書授与式・同窓会入会式

3月1日（月）に卒業生・保護者と教職員・生徒会役員などが出席し、令和2年度の卒業証書授与式を挙行了しました。新型コロナウイルス感染防

止のため、県教育委員会や、内山登同窓会会長をはじめとする来賓の皆様をお招きしませんでした。会場には祝電やメッセージ、出席できなかった在校生各クラスからのお祝いの言葉などが掲示されました。

先立って行われた2月26日（金）の同窓会入会式では、普通科70名、キャリア探求科34名、計104名が新たに入会し、内山会長から歓迎のメッセージをいただきました。

### ○生徒の全国募集

全国募集では、本校定員の120人とは別に、普通科8人、キャリア探求科4人、計12人を受け入

れることができます。現在は1年から3年まで14名の生徒が入学しています。

春には男子寮も完成しますが、全国から和気閑谷高校を目指す生徒の身元引受人や下宿先を募集しています。「志の高い生徒の身元引受人になってもよい」「下宿を提供してもよい」と思われる方は、学校までお問い合わせください。

（問い合わせ先）和気閑谷高校 教務課  
TEL (0869) 93-1188



## 第55回 岡山県文化財保護協会賞受賞

竹内良雄先生（昭34閑卒・平3.4～13.3本校勤務）が標記の賞を今年8月に受賞されました。先生は、関係略歴としては、閑谷学校研究委員会事務局幹事、閑谷学校研究編集委員会委員に携わってこれら備前市の文化財保護、保存、閑谷学校の普及啓発にご尽力してされました。

本校在職中には、「釈菜」の運営を行い、退職後も閑谷学校資料館において、「閑谷学校研究」にて多くの論考を發表し、文化財保護の醸成に貢献されました。また、閑谷かわら版（閑谷春秋）において、長年にわたり閑谷学校の情報発信に取り組むなど、地域の歴史の伝承や普及活動に携われました。さらに、閑谷学校受付で販売されている先生が編集出版された『あいうえお論語』はすでに21万部を超えて購入されています。



その他に本校在職中には、総ページ数343に及ぶ『創立325年記念誌』を編集され5年後の330年の時には、評伝『白木豊の生涯とその歌』及び『温故知新 創立330年記念回顧録集』を編集されました。さらに忘れてはならないのがこの時に非売品として発行された『論語百章』です。この先生が編集された『論語百章』は現在も本校在校生の副読本として愛用され本校教育の中枢を担っている物です。

「ナンバーワンの教育ではなくオンリーワンの教育」というある同窓会会員のことがありますが。“オンリーワンの歴史に裏づけられたオンリーワンの教育”という考え方が脈々と受け継がれている気がします。

先生は現在、備前市野谷に在住です。ますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



# 創学350年記念事業まとめ

## ●創学350年記念式典

日時：令和2年10月16日（金） 10時～11時30分

場所：本校体育館

この日は朝から快晴のもとでの開催となった。式典に先立ち、有志生徒が制作した学校の歴史を振り返るオープニングムービー（約15分）の上映に続き、式典がスタートした。来賓は73名、生徒は56名（各クラスから4名ずつ）が列席し、厳粛な雰囲気の中滞りなく進み、岡山県

閑谷中学校、岡山県和気高等女学校、岡山県立和気閑谷高等学校3校の校歌斉唱で締めくくった。菅義偉自民党総裁から届いたメッセージが式典に花を添えた。なお、列席しなかった生徒は各教室で式典のオンライン中継を見ながら、リモートで参加した。

### 《式次第》

開式の辞	来賓祝辞
国歌斉唱	同窓会会長挨拶
物故者に対する黙祷	PTA会長挨拶
校長式辞	生徒代表挨拶
岡山県教育委員会祝辞	校歌斉唱
感謝状並びに記念品贈呈	閉式の辞
受賞者代表謝辞	



### 《感謝状贈呈者》

#### ◎同窓会功労者（歴代同窓会長）

森崎岩之助 高橋隆一

#### ◎PTA功労者（歴代PTA会長）

萩原潤彦 倉崎猛夫 加藤里香 鶴見知久 大智りえ

#### ◎教育功労者（歴代校長）

中桐哲則 加治信正 香山真一

#### ◎永年勤続者

（旧職員）岡千代也 田中 薫 大野浩志 池上珠未 武田成弘 渡邊悦子 原田佳知  
（現職員）正田義統 高原晃一 八幡信哉 荒金恭子 鈴木渥子 福田浩司

#### ◎学校医 藤原みち子 中柄千明

#### ◎学校歯科医 武内典之 畑上雄大 平井浩生

◎記念式典の様子は、YouTubeの和気閑谷高校チャンネルに配信しています。  
和気閑谷高校ホームページから見られます。

## ●記念座談会

日時：令和2年10月16日（金） 13時～14時30分

場所：本校管理棟3階会議室

記念式典終了後、記念座談会を実施。出席者は本校卒業生と在校生合わせて6名。「これからの和気閑谷高校－350年の歴史を踏まえ、地域に根ざした学校として－」をテーマに、テン

ポの良い進行のもと、本校の歩みを振り返るとともに今後の展望について、建設的な意見が多く出た。また、この様子は、特集記事として山陽新聞にも掲載された。

### 《出席者》

藤原 麻理（S57卒、和気町内小学校での英語指導者）  
徳永 夕子（H4卒、徳永こいのぼり社長）  
近藤 全範（H12卒、和気町役場都市建設課）  
鴨井 修平（H22卒、同志社大学大学院博士課程）  
佐藤亜友菜（本校生徒会長）  
司会進行／  
石田 章洋（H57卒、放送作家）

### 【記念事業】

- (1) 記念会館の内部改修  
（3F和室を寮室に改修、シャワー室の整備、1F食堂の改修、各階トイレの洋式化等）  
※「ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業」の寄付による
- (2) 創学350年記念誌の発行
- (3) 在校生による卒業生への「聞き書き」  
（記念誌へ掲載）
- (4) 山陽新聞特集紙面  
（令和2年10月16日、10月31日）

### 【記念行事】

- (1) 記念楷楓祭  
・期日：令和2年9月5日（土）文化の部  
9月8日（火）体育の部  
※創学350年を記念し、生徒・教職員・卒業生で「和」などを人文字で描きドローンでの撮影も行った。

- (2) 記念回顧展  
・期間：令和2年10月16日（金）～30日（金）  
・場所：記念会館2階  
・内容：閑谷学校巡回展に本校独自のものを加えた。  
・展示物：閑谷中学校時代の教育関係書類、教科書、和気閑谷高校の過去の卒業アルバム、学校誌、創学記念誌等
- (3) ドキュメンタリー映画「精神0」上映会  
・期日：令和2年10月31日（土）  
1回目 10：00～12：10  
2回目 13：30～15：40  
・場所：サエスタ 大ホール  
・内容：本校卒業生で82歳の精神科医の、引退後の夫婦の人生を追った作品。ベルリン国際映画祭で受賞した。  
※当初予定していた、「記念芸術鑑賞会」「ホームカミングデー」はコロナ禍の影響で中止となった。



### 【各係の様子】

- ◎受付・案内・接待係  
1、2年生各クラスから3名ずつ（計30名）選出し、当日の受付担当9名、案内と接待担当21名に分かれてそれぞれの業務を行った。
- ◎交通警備係  
この日は来賓駐車場として、玄関横と図書館前に加えて、旧グラウンドを解放した。男子風紀委員9名が当日校外での案内や校内の駐車場係補助を行った。

# 令和2年度同窓会総会

令和2年度同窓会総会・懇親会が、現旧職員・卒業生計61名参加のもと開催されました。

今年度は創学350年記念の年ということで、庶民の学校としては世界最古であり、我が校原点の地である閑谷学校に同窓生が集合。昭和53年卒業生が幹事学年で、準備・進行をしてくださいました。コロナ禍で開催が危ぶまれましたが予定通りに進み、懇親会では各テーブルから懐かしい話や

近況報告をいただき、和気閑谷高校の未来に思いを馳せました。

最後に感染予防のためマスクをしたまま閑谷中学・和気高女・和気閑谷高校の校歌を歌い、母校の発展を祈りました。次回幹事である昭和54年卒業生へ引き継ぎ、またの再会を約束して閉会となりました。



令和2年10月25日（日） 岡山県青少年教育センター閑谷学校

## 同期会だより

和気閑谷高校剣道部  
OB・OG会兼備前・  
和気剣道連盟初稽古会

S61卒 田代 雄一

感染対策のため手指消毒や換気、マスクをしての実施というこれまでとは違った形での初稽古会でしたが、短時間で中身の濃いものになりました。今は我慢の時期ですが、以前



令和3年1月3日 和気閑谷高校

のように大会や稽古ができる日が来ることを信じて、できることを行っていこうと思います。



# 卒業生・旧職員

昨年9月以降にいただいた便りの一部を

昨年の4月から、神戸女学院中高部に勤務しています。なかなか難しい事も多く、日々追われるように過ごしています。ここでしっかりと仕事ができるようになるように頑張っていきます。

旧職員 荒木 奈々海

昨年度より旭川荘厚生専門学院に非常勤で勤めています。和気閑谷高校へはガイダンスでまた伺うこともあるかと思えます。

旧職員 加治 信正

創学350年おめでとうございます。小生、孔子廟祭典にご奉仕したり、講堂で論語を講じたりした経験があります。

旧職員 国定 忠治

中高6年、人間形成をしていただき、教員として多くの教え子に育てて頂きました。感謝・感謝です。「大成殿楷の双樹も紅葉す」

旧職員 津田 忠彦

昭和36年卒の同窓生とは、令和元年中に和気藤公園・日笠バラ園・喜寿同窓会・柵原鉦山資料館とよく会いました。86歳となり、これから何回卒業生と会えるかな。会いたいですネ。

旧職員 村山 仁三

90歳を越え、コロナ禍・熱中症予防で外出できず、月1回のゴルフもできなくてストレス一杯です。関係各位の御健勝を祈っています。

S21卒 国塩 二三夫

昭和24年3月、女学校最後の卒業生です。南は開聞岳から北は岩木山まで多くの山を主人と歩きました。母校の創学350年と益々の充実発展を祈念いたします。

S24卒 岸本 貞子(岩田)

子や孫、ひ孫の成長を楽しみにこの歳まで生かされていることがありがたいです。母校創学350年で幹事の方々にはお世話になり感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。

S25卒 岸本 和良

S26卒 岸本 弘子(岩崎)

会報を拝見し、私より年上の先輩様が達者でお過ごしのこと。負けまいと自らに言い聞かせ精進する日々です。

S26卒 横山 郁子(有吉)

コロナ禍で外出を自粛し、家事に専念しています。早くコロナ禍がおさまれば閑谷へも行きたいものです。

S30卒 安東 保

加古川市・播磨町・稲美町の警友会(警察OB会)相談役をしています。健康優先の毎日です。

S31卒 谷口 義美

80歳にして心の欲するところに従って矩を越えず、身体は老いても心は若い、巡り来る出来事に夢と希望を抱き続けています。和気の学舎の情景や同窓の面々が懐かしく思い出されます。

S32卒 福力 清史

「この世は素晴らしく生きてきてよかったと思える日が必ず来る」ことを信じ毎日頑張っています。

S35卒 重蔵 敦史

仕事をやめて以降、富士宮市の保健センターで高齢者の筋トレの指導を13年程度しており、週2回のソフトテニスも頑張っています。

S35卒 森本 邦洋

京都へ出て半世紀、岡山の繁栄をいつも願っています。交通の便もよく、墓参りにもよく帰省し



# からのたより

掲載いたしました。( )は旧姓



ます。懐かしむことが多くなりました。

S36卒 松藤 悦子(大橋)

閑谷校舎に通っていましたが、当時は校歌の他に寮歌をよく歌っていました。歌詞に「俗会離れて300年……」がありました。今、歌われたとしたら「……400年……」かと、口ずさんでいます。

S38卒 藤本 澄男

旧職員であった夫の神社栄二も、耳は少し遠くなりましたが元気で毎日頑張っています。和気閑谷高校のこれからのご発展をお祈りいたします。

S39卒 神社 宣恵(柚本)

昨年9月下旬、高齢者11人で鏡野町の高清水トイレル全長8.7kmを歩いてきました。天候とメンバーに恵まれ、下界とは5～6度涼しく快適な山歩きでした。

S39卒 余田 敦

350年の伝統に新たな挑戦を試みておられる母校を誇りに思います。コミュニティ・スクールや全国募集など大いに期待しています。

S41卒 山本 日出男

コロナ禍の中、自分のため社会のために皆がステイホーム中で、私は本を読んだり、TV・ラジオをゆっくりと見聞きする毎日で、歴史に触れる情報も多く興味津々です。学生時代にこのように学んでいたら……。新たためて歴史ある母校を誇りに思います。

S43卒 佐々木 典子(氏本)

年齢も重ね、家の米作りと野菜作りをしたり、孫達の宿題を見たり、毎日充実した日々を過ごしています。同窓生の皆さんお元気でしょうか。皆様お元気でお過ごしください。

S44卒 今石 美幸(田中)

小学校教員免許を取得して9年、今度は中学校社会科にチャレンジです。

S45卒 木待 賢逸

新型コロナウイルスの感染が落ち着かず大変ですね。仕事でヘルパーをしているので毎日緊張しながら頑張っています。この年になると学生時代の思い出が懐かしく思い出されます。バスケ頑張ったなあ……。

S47卒 石井 芳美(神崎)

現在、私は済生会の英会話のレッスンに毎週月曜日に通っています。後輩の皆様も頑張ってください。

S49卒 澁谷 哲

読売新聞の「気流」欄へ、母校の生徒が投稿しているのを読むにつけ懐かしく思うとともに、自身の高校時代と比べて今の生徒はすごいなど、いつも感心しています。

S49卒 林田 一成

幹事の方々にはいつもありがとうございます。長年閑谷学校に従事していた父が一昨年6月に他界し、父の詠んだ閑谷学校の短歌を目にしました。

S51卒 森 史江(若松)

還暦の年、旧友と集いたいものですが、コロナ禍で新たな繋がり方を考えることが必要かも知れませんね。皆様の無事を願うばかりです。

S54卒 時岡 裕美子(池上)

一昨年9月に入籍し、昨年2月には女の子が生まれました。今は家族3人で仲良くやっております。

H18卒 西崎 勇太

※( )は旧姓です

# 年会費・任意寄付・ 創学350年特別寄付

ありがとうございました。

## 令和2年度分 納入者一覧

(2年4月～3年3月)

(単位：千円)

(法人)	S19	木村 綾子 7	津田 忠彦 10	和気 清子 2	松田 典子 1	入屋 公枝 1
㈱後藤テック	難波 政子 2	国定 憲吾 10	中野 順夫 2	三宅 典子 1	久安 吉子 2	三浦 剛 2
10	三宅比佐子 2	是松 毅 6	仲原 浩史 1	S30	村田 正長 11	森川美智子 10
映画「精神0」	森山 仁市 10	篠埜 晃 6	松川 和明 2	入江 為式 6	山口 弘子 1	森本 邦洋 3
上映実行委員会		建内 英策 1	丸山 繁美 10	岩藤 章雄 3	料治 孝子 1	山田 貞子 1
50		棚田 諄 12	三木 早苗 1	植木 弘子 7	S33	和田 修 1
フジワラ産業㈱	S20	津崎 巴津 2	三宅 誠 1	大森 米子 1	鶴川 佳永 1	
300	荒尾 圭子 3	中村二三子 11	森 徹 100	小野陽一郎 6	大田原啓介 10	S36
	尾形 緑 1	西本 道郎 11	森崎 晴美 10	神崎 信義 6	小笠原龍之 6	赤松 章二 7
(旧職員)	小倉 里子 3	野津 貴 5	森末 順子 1	小林 信子 2	北川 眞正 9	有吉 栄子 6
井上 進夫 1	金光 彰三 2	橋本多美枝 1	山上留利子 11	先山真佐子 6	近藤 智好 12	浦上 良子 11
大場 匡徳 6	田中 義一 12	日笠 勝己 10	山下須磨子 1	下村 脩 9	塩尻 則子 1	河田 玲子 7
岡 千代也 2	仲江 昭男 11	森本 巧 2	山田 洋子 6	下村 久栄 1	須藤 鶴子 1	岸本 順子 1
加治 信正 11	若本一二三 7		分島 仙枝 1	須藤 鶴子 1	田中 広海 1	岸本富佐子 1
河合 成康 6		S26	渡邊 明 3	田中 広海 1	玉谷 一幸 2	岸本 恵美 6
河合 保生 11	S21	浅野間幸子 1		歳森佐智子 1	鳥越 守 5	木村 直 6
国定 忠治 11	国塩二三夫 40	上村 昌司 6	S28	中原 寿恵 3	中原 寿恵 3	国塩紀久子 1
小池 邦彦 13	永守 春枝 3	浦上 至 3	相沢 知之 27	平井 健児 6	平井美登里 6	栗原 昌子 11
小坂 博通 6	廣瀬 隼子 15	浦上 昭一 6	岡 靖人 1	三笠 享子 1	三笠 享子 1	國光 文夫 2
近藤 典子 1		岡嶋 省三 11	末廣 次男 1	矢野 清美 9	若林 昭枝 1	小橋 正義 6
佐藤 啓子 1	S22	北川 朔司 4	武元 正好 5	若林 昭枝 1		近藤 登一 1
塩見 卓示 2	青木 享子 11	國光 浩子 5	多田 直嗣 11	S31	有吉 和彦 6	坂本 堅志 1
歳森 隆夫 3	岡本 虎雄 2	近藤 玲子 5	恒次 司郎 5	池 芳昭 3	池 芳昭 3	従野 京子 1
内藤 靖章 6	津島 靖 3	高取 正一 1	寺澤 秀子 10	生駒 公子 11	伊東 照世 3	竹井 和子 1
中桐 哲則 11	中村 桂子 10	野上乃武子 2	土井 典子 6	今田 純一 1	今田 純一 1	田淵 紀子 1
中山 進 2	福田寺千恵 5	延藤 克美 12	徳永 文夫 5	岩田 薫 51	岩田 薫 51	川崎 一興 12
福渡 直躬 1	村岡 光郎 2	花岡 徳子 2	中川 宏美 3	金光 宜三 1	金光 宜三 1	河田 宗子 3
房宗 剛史 5		日笠 和清 5	西澤 定律 1	久世 弘子 116	久世 弘子 116	北川 公一 11
藤原 靖子 10	S23	平井 昭信 3	原田 保 1	中村 晃 3	中村 晃 3	北川 柳衛 5
古川 治 21	大野 幸子 2	水内 緑 3	松本 正子 4	橋本 重昭 6	橋本 重昭 6	難波 昌文 2
美船 公雄 11	岡田 一子 20	南 順 2	森本 明治 3	松井多嘉子 10	松井多嘉子 10	沼本 享子 5
森 彰 50	難波 公正 11	山本 昇 6	藪井 園江 1	万波 徹也 3	万波 徹也 3	萩原 誠行 5
守時 輝明 2	早瀬 俊子 2	弓場 光男 2		S32	伊永 忠範 3	花谷 徹 21
森本 明美 10	古川 雅子 6	行森 彌生 1	S29	伊永 忠範 3	伊永 忠範 3	日笠 郁代 1
山本 高 3	古澤 誠子 2	横山 郁子 10	有吉孝太郎 11	中村 晃 3	中村 晃 3	藤本 信之 6
和田 誠也 2	吉崎 康子 5	薬科 逸雄 6	伊藤さえ子 1	橋本 重昭 6	橋本 重昭 6	藤原 俊吾 3
			射矢 頌子 1	前野 重喜 10	前野 重喜 10	本荘 稔 3
S4	S24	S27	浦上 栄子 3	万波 康 6	万波 康 6	S37
後極 信 1	稲田 晃 2	伊藤 勇 13	太田 光子 21			大西 正躬 101
	加納 愛子 11	射矢 諄一 6	大森 経徳 31			大森 克彦 1
S12	河井 節子 2	太田 寛子 1	大森 直徳 31			岡部 哲也 8
大徳 瑞江 5	岸本 貞子 11	岡崎 恭子 1	加藤 規子 10			小野田和義 3
	高下 文子 6	岡部 克彦 3	河田 重子 3	S35	池上貴久雄 1	景山 勝夫 30
S14	高取美智子 1	岡本 方子 1	草加 哲男 21	池上貴久雄 1	池上貴久雄 1	川口 眞正 1
米山 一女 11	西川 圭子 1	木崎 宏 1	皿井 淳雄 5	伊永 忠範 3	伊永 忠範 3	河田美美子 6
	若槻 道子 6	久保 爽 1	従野 洋行 1	岩崎 和子 1	岩崎 和子 1	神崎 進 1
S17	西川 圭子 1	國光 史朗 10	武田寿美子 6	岡本 弘子 2	岡本 弘子 2	高西 照子 1
小西恵美子 10	若槻 道子 6	杉原 昇 1	藤原 聡江 6	奥 每子 3	奥 每子 3	近藤 幸子 1
滝川 佳子 5	S25	杉山 瑛之 2	藤原 孝子 1	片山 育子 5	片山 育子 5	谷 利勝 1
	石田 董子 11	高原 功子 30	藤原 利男 2	兼光いくよ 6	兼光いくよ 6	野崎 省子 7
S18	宇垣 成子 7	竹並 弘子 1	森崎岩之助 31	須波 淳人 6	須波 淳人 6	深井 輝彦 2
浦上 緑 6	内田 信好 6	田村 壽子 1	山本 昌知 11	角南 勝弘 10	角南 勝弘 10	真殿 正次 12
鈴木 源孫 10	大野 博 2	近馬 勤 1	由良 頼子 11	高木 和子 3	高木 和子 3	森川 幹彦 1
松浦 武 10	岸本 仁 6	津島 礼子 1	吉岡 茂 31	野山 倫子 1	野山 倫子 1	山田 昭義 2
	岸本 和良 42			藤井みゆき 2	藤井みゆき 2	
				堀 崇文 1	堀 崇文 1	
				西本 照子 1	西本 照子 1	

令和2年3月末に、目標額の3,200万円を上回り、3年8月現在、4,100万円を超える寄付をいただきました。ありがとうございました。記念会館の改修を中心に有効に活用させていただきます。

なお、岡山県に対する寄附金（ふるさと納税）として、使い道“学び舎”環境整備事業 和気開谷高等学校に納入して下さった方は、この会報への記載はありません。

S 38	橋 郁夫 1	竹中 貢三 2	渋谷 俊彦 6	福島 照子 6	末廣 弘毅 1	H 4	
伊藤 勝彦 6	徳永 深二 10	橋 広美 1	高取 隆昌 1	藤原紀和子 1	南葉 隆宏 3	小林 弘典 1	
江本 博志 10	中司 英雄 6	中家 茂博 11	竹一みどり 2	星野 順 6		H 5	
片山 功 2	新田 仁美 3	中川 康三 1	西田 宗弘 6	真鍋 恵子 6	S 57	青山 幸夫 1	草加 浩二 11
金光 寛 10	藤原 弘子 1	花沢 芳文 6	藤原 暢人 1	丸山 博文 1		赤堀 直志 1	田中 佳代 1
小山 栄 1	藤原 義昌 3	平田みはる 3	向井 智江 21	万代 茂敬 3		岸本 美加 11	
鈴木八重子 2	細田 邦子 6	藤原みえ子 6	守井 一成 6	森 史江 6		黒澤 朋子 1	H 6
友安 俊和 2	三原 千幸 1	守井 秀龍 1	吉久登貴子 2	山田 直樹 1		小松 昌子 1	金光 正浩 1
内藤 廣章 7	宮岡 寛美 6	吉房 順治 6				恒次 都子 1	
中野 克子 11	矢部 賢次 11	若林 章 7	S 48	S 52		三宅 佳子 1	H 9
根本真佐子 1	山本 幸枝 6		明石 考生 1	熱田 龍二 6			武元 夕起 1
日笠 紘 6	山本日出男 7	S 45	赤堀 幸子 6	有本 明彦 6			
藤井 洋一 2	山本 真澄 10	荒嶋弥寿夫 11	石井 宏昌 1	伊山 整 1	S 58	徳永 由美 2	H 17
藤本 澄男 1	山本 泰正 1	宇高 三郎 10	釜田 晃代 6	内山 輝之 2		中村 修作 3	上浦智容子 2
松島 孝利 2		岡本知加子 3	小坂 仁志 3	太田 啓補 1		山本 美香 1	
森 信子 6	S 42	北川久美子 3	玉口 唯夫 3	我沢 一朗 11			H 18
安本 昭信 2	出射 政子 10	木下保都美 1	津村 稔 5	角南 整司 5			大田原江美 3
山本 睦子 1	小野 節郎 2	木待 賢逸 2	徳永 旭生 12	竹内 基 6	S 59	佐藤 仁美 10	中村 由佳 1
芳形 時子 1	金子 文子 11	国友 堅 9	中川徳一郎 3	西上 祐子 1		下山 剛史 3	
米田 恵朔 7	近藤 孝 2	國近 登 2	沼本 典子 3	藤本 智成 6		善勝 史 7	H 21
	下井 常司 2	小宮山尚理 5	延藤 安茂 51	藤原 茂洋 1		那須 雅子 3	石原 悠太 1
S 39	居樹 豊 11	定国 誠也 10	本家 淳子 5	森定 宏之 6		難波 浩明 1	楯本 昭恵 1
池内 雅範 16	高尾 行雄 6	周藤 忠 11	三谷原るり子 6		S 53		榎本裕太郎 1
池上 繁子 1	竹光 充子 1	戸川 基子 9			赤木 千弘 1	S 60	
片山田鶴子 10	竹光 正博 1	徳光 泰弘 22	S 49		尼子 芳美 13	岩藤 美佐 2	H 29
小坂 善三 10	田中 敏子 1	鳴瀬 好恵 5	赤木 年 1		石井由紀子 1	早久間美和 2	中村 壮汰 1
斉藤 照美 3	中尾 啓子 5	橋本 弘美 6	荒内 保裕 7		岡 公江 1	鈴木 恵子 3	万波 真人 1
実盛 康之 5	永宗 黄二 30	村上 輝行 5	宍戸 典子 3		川西 睦弥 7	平野 昌美 1	若林 愛弓 1
武元 民義 2	西谷 義廣 11	山本 繁夫 3	渋谷 雅弘 6		実盛 孝典 2		
徳永 久俊 21	藤原 秀彦 6	横田由紀子 1	新後 雅弘 6		柴田 崇子 2	S 61	H 31
頼宮 利夫 10	三船 主恵 1		西中 純一 1		柴原 克彦 5	赤島 三也 6	早久間葉月 2
横山 洋子 3		S 46	馬場 雅夫 1		松原 麗子 1	景山 泰吉 3	万波 優人 1
湧田 幸雄 21	S 43	青木 美穂 6	藤本 敏弘 3		溝辺 直樹 2	田代 雄一 1	
	秋山 佳子 5	小笠原順子 6	藤原 祐一 1		宮慶美恵子 2		R 2
S 40	梅原 俊子 5	小原 康弘 6	森沢 晴美 16		向井 重明 1	S 62	斎藤 杏 1
麻植 栄一 1	太田由里子 10	角屋 純子 1	横林 光司 11		横谷久美江 11	高原 晃一 14	嶋村 強太 2
太田佐和子 2	佐々木典子 1	清水 富江 1,011	米本 詞一 6				
川田 良次 3	杉山 隆一 1	高尾 茂樹 16		S 50	S 54	S 63	令和2年度合計 年会費
高島 正男 1	瀬戸山久木 3	田口 正美 1	神崎 雅光 3	神崎 雅光 3	秋山 恭子 1	阿部 浩久 13	63万2千円
國光恵美子 1	高尾 長 2	西山 民子 6	神崎 恵策 3	神崎 恵策 3	今井田敏宏 2	伊永 俊雄 6	任意寄付
坂田 菊美 2	立石 紀文 2	橋本 典子 3	堺 昭生 3	堺 昭生 3	大森 哲男 1	頼宮 美紀 3	74万2千円
竹内 吟子 1	恒次 秀起 11	島 桂太郎 11	谷口満智子 10	谷口満智子 10	岡上多鶴子 2	中村 成美 1	創学350年 特別寄付
村本 栄江 2	土井内好子 2	馬場 雄二 1	西野 保久 16	西野 保久 16	瀧 信子 1		404万6千円
山砥 則子 11	永島 英夫 3	藤澤 静江 6	吉川貴美子 3	吉川貴美子 3	竹田 浩之 8	H 1	
	福原 和枝 6	藤本 恵子 7			時岡裕美子 9	青木 克行 6	
S 41	村田ひで子 1	藤原 明文 6	S 51		南部 正明 5	井上 柁彦 2	
浅原美津江 6		武藤 幹夫 2	荒島 嘉彦 1	荒島 嘉彦 1	新後喜久代 4	田井 一正 3	
伊賀 安文 36	S 44	宗久 宏 6	石原 高志 3	石原 高志 3	丸尾美代子 2	恒次 晋司 1	
伊澤 孝二 6	井上 純子 6	村中 厚美 5	大森 和子 1	大森 和子 1		八部 緑 2	
石井 史子 10	内田 譲 4	安川 律子 3	片岡 啓吾 3	片岡 啓吾 3	S 55	三浦 祐二 4	
内山 一美 3	岡野 俊子 21	山口 玲子 5	岸本雄一郎 1	岸本雄一郎 1	岡本 栄二 1		
大坂 浩二 9	尾関 雅広 3		坪井 恭紀 11	坪井 恭紀 11	藤田 哲和 1	H 2	
大田原晴久 1	金谷 啓司 2	S 47	西角 友彰 11	西角 友彰 11		横田 圭司 1	
神本 富子 10	久山 圭子 1	内田 太 3	西山 繁夫 1	西山 繁夫 1	S 56		
国友 幹生 3	河本 和子 2	大田原耕一 1	新田 正純 11	新田 正純 11	小川 睦美 1	H 3	
澤田 勇 3	國友 勝美 1	岡野 吉男 6	春名かをり 1	春名かをり 1	河原 幸一 2	武元 慶孝 3	
島 清子 3	鈴木三重子 1	片山 玲子 1	樋口 一平 10	樋口 一平 10	従野ひろみ 1		
高橋 隆一 211	角南 守正 3						

●「お詫びと訂正のお知らせ」

2020.8.1発行の会報第26号10頁「年会費・任意寄付・創学350年特別寄付」欄でお名前が間違っていました。  
お詫びして訂正いたします。

誤) S 28 丸山 健太郎 さま 正) S 28 丸山 建太郎 さま

## 部活動の報告

### 第67回中国高等学校剣道選手権 個人の部出場 長井里央

6月19日（土）に山口県の維新大晃アリーナで開催され、3年生普通科の長井里央さんが、個人戦に出場し、2回戦を勝ち抜き、3回戦進出をはたしました。

長井さんの目標は、常に中国大会出場でした。専門の顧問がおらず、前顧問が残してくれた「努力に勝る天才なし」「三倍努力」をモットーに、部長として選手として、剣道部を牽引してくれました。学校での部活の後、地域のスポ少に稽古に出向くなど、見えないところでも自分を磨く姿が感じられ、後輩の手本となっていました。得意な技は飛び込み面。相手を追い込み素早く面を打ち抜く。見事な一撃です。中国大会でも初戦は面を



取っての一本勝ち。次戦は延長戦になって粘ったものの敗れてしまいました。

しかし、本番で実力が発揮で

きたのは、これまでの稽古のたまものだと思います。

コロナ禍で開催さえ危うい中、大会関係者の皆様、剣道部を支えてくれる保護者の皆様、本当にありがとうございます。



初めての中国大会で、いつもと違う試合会場にとっても緊張しました。私は小学校3年生から剣道を始め、高校で初めての主将になり、難しいこともたくさんありましたが、諦めずに頑張ってきました。私は中国大会出場を目標に、学校の部活だけでなく、地元のスポ少で稽古したり、トレーニングなどたくさん努力して、目標を実現させることができました。私を応援してくださった多くの方に恩返しができてよかったです。試合では一勝できたけれど、もっと攻めれたという悔いもあります。

この経験を通して、卒業しても夢に向かって、たくさん努力してゆきたいと思います。

### ★同窓会役員一覧

会 長 (1)	副会長 (3)	監 事 (2)	顧 問 (1)
内 山 登 (S49)	延 藤 安 茂 (S48) 横 林 光 司 (S49) 徳 永 夕 子 (H4)	和 田 敬 子 (S43) 吉 房 順 治 (S44)	森崎岩之助 (S29)
理 事 (9)		校 内 理 事 (7)	
大 森 直 徳 (S29) 古 川 美 保 (S42) 松 嶋 孝 則 (S43) 清 水 富 江 (S46) 森 定 宏 之 (S52)	高 橋 隆 一 (S41) 國 友 道 一 (S43) 守 井 秀 龍 (S44) 内 田 太 (S47)	藤 岡 隆 幸 (校長) 神 田 明 夫 (事務長) 頓 宮 美 紀 (S63)	久 常 宏 栄 (教頭) 和 氣 徹 (S55)
会計担当 (1)	藤 原 義 昌 (S41)	《事務局》赤 島 真 一 (S54)	
		特別顧問 (1)	香 山 真 一 (前校長)

#### 編集後記

味覚の秋を迎えました。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、昨年10月の創学350年記念式典、その関連行事、各種寄付など大変お世話になりました。今後とも同窓会へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

ところで、長年、同窓会事務局を担当していただきました高原先生が西大寺高校に転勤になり、定年退職後、再任用1年生の私が後を引き継ぎ担当させていただきます。微力ですがご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。(赤島 記)